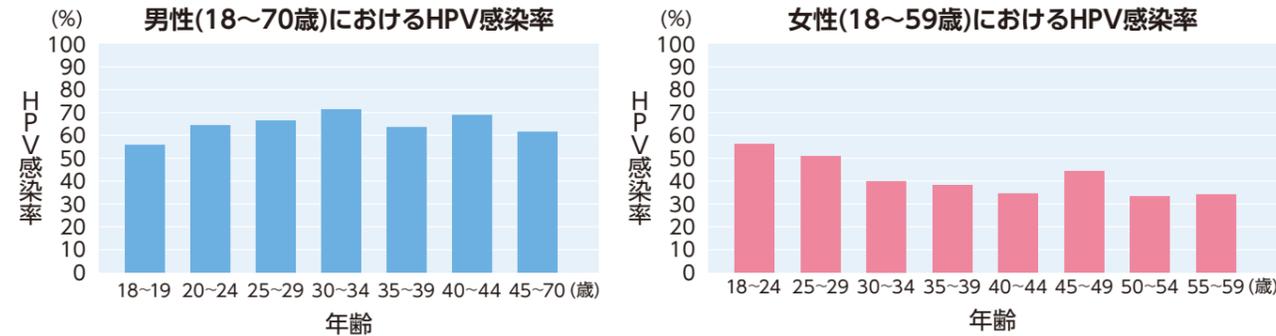


ガーダシル®は、性別によらない接種が可能 なHPV*ワクチンです。

*:ヒトパピローマウイルス

HPVは、男性にも女性にも感染がみられます。

■男性/女性におけるHPV感染率(海外データ)



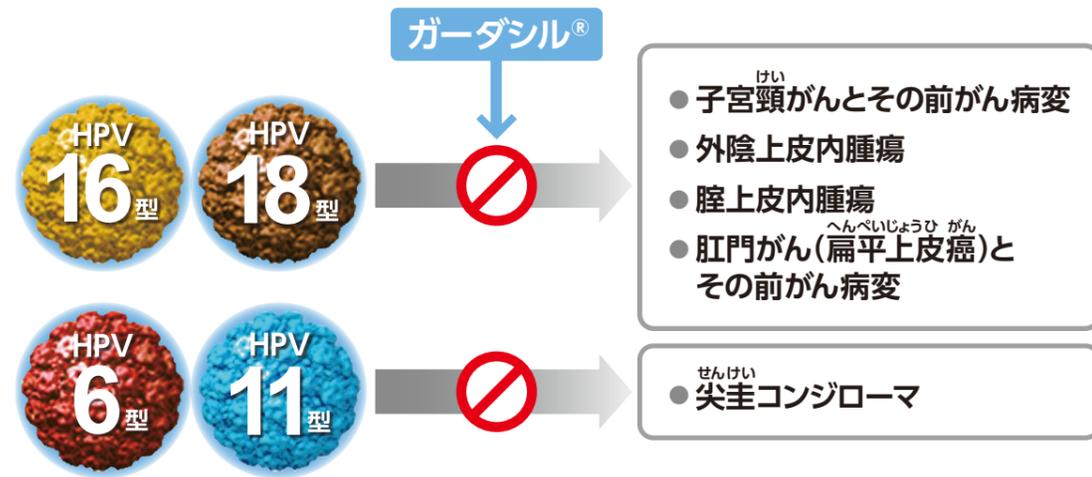
【対象・方法】2005~2006年に登録されたブラジル、メキシコおよび米国における18~70歳男性1,160例を対象に、PCR法によって、性器における37種類のHPV型分布および感染率、感染状況について調査した。

【対象・方法】2007~2010年の米国国民健康栄養調査(NHANES)データベースを用いて、18~59歳女性3,738例を対象に、PCR法によって、性器における37種類のHPV感染状況について調査した。

Giuliano A et al. *Cancer Epidemiol Biomarkers Prev.* 2008; 17: 2036-2043. より作図
【利益相反】著者にMSD社よりコンサルタント料および謝礼を受領している者が含まれる。

Shi R et al. *BMC Res Notes.* 2014; 7: 544. より作図

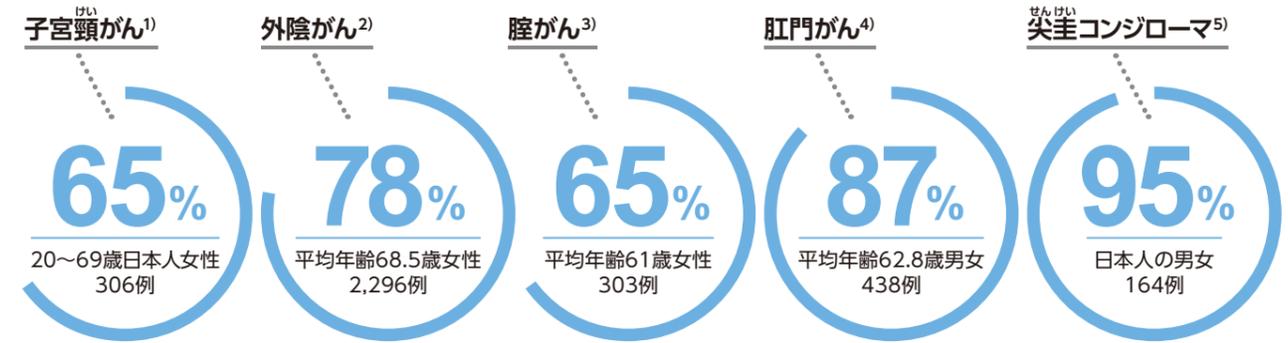
ガーダシル®を接種することで、HPV6、11、16、18型の4つのHPV型に対する抗体がつけられます。



HPV6、11、16および18型以外のHPV型による病変については、予防効果は期待できません。

以下のような疾患が、HPV感染が原因で起こることが知られています。

■HPV6/11/16/18型が関与するHPV関連疾患の割合(海外データ/国内データ)



すべての子宮頸がん、外陰がん、膣がん、肛門がん、尖圭コンジローマがHPVによって引き起こされるわけではありません。

世界では、50以上の国と地域で、男女へのHPVワクチン接種プログラムが導入されています⁶⁾。

米国 ⁷⁾	カナダ ⁸⁾	オーストラリア ⁹⁾
<p>CDCの予防接種の実施に関する諮問委員会(ACIP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11~12歳の男性と女性(9歳から予防接種を開始するオプション) ● 以前に予防接種を受けていない、または完了していない26歳までのすべての人に対して3回投与 ● 臨床的判断で決定されたワクチン接種が十分に行われていない27~45歳の一部の成人 	<p>カナダにおける予防接種に関する国家諮問委員会(NACI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 9歳以上27歳未満の女性(Pap検査異常、子宮頸がん、尖圭コンジローマの既往歴のある方を含む) ● 9歳以上27歳未満の男性 ● 継続的に曝露のリスクがある27歳以上の男女 	<p>オーストラリアにおける予防接種に関する技術的諮問委員会(ATAGI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 9~18歳の男女の青少年(ワクチン接種に最適な年齢は12~13歳) ● ワクチン接種の恩恵を受ける可能性のある一部の成人(19歳を超える成人へのワクチン接種は通常推奨されない) ● 年齢に関係なく、著しい免疫不全状態にある人

男性へのガーダシル®の接種は「任意接種」となります。小学校6年生~高校1年生相当の女性への接種は「定期接種」となります。対象者のみ、定期接種としての公費助成が受けられます。(2022年2月現在)

1) Sakamoto J et al. *Papillomavirus Res.* 2018; 6: 46-51. より作図
2) de Sanjosé S et al. *Eur J Cancer.* 2013; 49: 3450-3461. より作図
【利益相反】著者に学会参加の旅費、他の研究助成をMSD社より受領した者が含まれる。MSD社のスピーカービューローが1名含まれる。
3) Alemany L et al. *Eur J Cancer.* 2014; 50: 2846-2854. より作図
【利益相反】著者に学会参加の旅費をMSD社より受領した者が含まれる。
4) Alemany L et al. *Int J Cancer.* 2015; 136: 98-107. より作図
【利益相反】MSD社による無制限の助成により実施された。
5) 厚生労働科学研究費補助金研究「尖圭コンジローマにおけるHPV-DNA検出による実態把握」小野寺昭一 2011 より作図

6) 社内資料
7) CDC. HPV Vaccination Recommendations. <https://www.cdc.gov/vaccines/vpd/hpv/hcp/recommendations.html> (Accessed Jan. 18, 2022)
8) Canada.ca. Human papillomavirus vaccine: Canadian Immunization Guide. <https://www.canada.ca/en/public-health/services/publications/healthy-living/canadian-immunization-guide-part-4-active-vaccines/page-9-human-papillomavirus-vaccine.html> (Accessed Jan. 18, 2022)
9) Australian Government Department of Health. Human papillomavirus (HPV). <https://immunisationhandbook.health.gov.au/vaccine-preventable-diseases/human-papillomavirus-hpv> (Accessed Jan. 18, 2022)

接種後、30分程度は安静にしてください。 また、接種後に体調の変化があった場合には、すぐに医師に相談してください。

副反応について

ガーダシル®を接種した後に、注射した部位が腫れたり痛むことがあります。これは、体の中でウイルス感染を防御する仕組みが働いているために起こっており、通常は数日間程度で治まります。接種後に腫れや痛みなどの症状が長く続く場合には、医師にご相談ください。

注射部位の痛み、赤み、腫れ

頻度10%以上



頭痛、注射部位のかゆみ、発熱

頻度1～10%未満

体がふらつくめまい、感覚が鈍くなる、傾眠(刺激がないと眠ってしまう)、
体が回転しているように感じる、下痢、腹痛、悪心(吐き気や胸やけ、胃がむかむかする)、
手足の痛み、筋肉が硬くなる、手足の不快感、
注射部位のしこり、注射部位の出血、注射部位の不快感、
注射部位の内出血、注射部位の変色、注射部位の知覚低下、
注射部位の熱感、だるさ、白血球数増加

頻度0.1～1%未満



蜂巣炎(皮ふ局所の痛みと熱を伴った赤い腫れ)、リンパ節の腫れ・痛み、
失神、おう吐、関節の痛み、筋肉痛、注射部位の血腫、
無力症(まぶたが下がる、物がだぶって見えるなど)、寒気、疲れ

頻度不明

3つの注意事項

HPVワクチンの接種後に、めまいやふらつき、失神などが起こることがあります。転倒してけがをしないように、次の3つの注意事項を守ってください。

- ① 接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師や保護者などに腕を持って付き添ってもらってください。
- ② 接種後30分程度は、背もたれや肘かけのあるイスなど、体重を預けられるような場所で待っててください。
- ③ 待っている間は、なるべく立ち上がることを避け、座ってください。



接種後にふらつきや失神が起こる理由

注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数や血圧が下がったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などが起こります。

これは、血管迷走神経反射とよばれ、多くの場合、注射後の失神が起こる原因と考えられています。血管迷走神経反射は思春期の女性に多いという報告がありますが、男性においても発生が報告されています。特に注射への恐怖心が強い方は注意が必要です。

接種スケジュール

十分な予防効果を得るためには、3回の接種が必要です。ガーダシル®を必ず3回接種してください。

■接種スケジュール



1年以内に3回の接種を終えることが望ましいとされています。また、2回目および3回目の接種が2ヵ月後および6ヵ月後にできない場合は、医師に相談しましょう。

女性は、3回の接種が完了しないうちに妊娠した場合は、医師にご相談ください。